

グリーンな人々増殖中……

イベントごみは分けましょ！

ABC ラジオスプリングフェスタ 2006 にて

「万博公園ふれあいの日」クリーンキャンペーンを春（3/12）に実践。

お祭り広場イベント会場内 5 か所、6 分別（可燃物、不燃物、カン、ペットボトル、生ごみ、汁=当時の表記のまま=）、ボランティアスタッフは、帽子とジャンパーを着用し声掛けをして分別協力していただきました。

それから 10 年

「祭の会場がもっときれいだったら、来年も行きたいけど……」

130 万人の来場者がある天神祭：大川公園一帯のごみゼロ大作戦の準備開始

2016 年は実態調査。なるほど、すごい散乱状況、これはアカン！

2017 年 天神祭ごみゼロ大作戦実行委員会発足、エコステーション・リユース食器回収を市民の力で。一部地域を実践。ボランティア 835 名、祇園祭ごみゼロ大作戦に実体験。焼却ごみを 6 割減らし、カン、びん、ペットボトルの再資源化、うちわをリユースできました。そして、ポイ捨てごみが少なくきれいな会場を維持できました。（南天満公園）

2018 年は、花火、船渡御会場の大川沿い全域を予定しています。

なお、これは大阪府市民活動推進事業として助成を受けました。

気づき⇒日常でしている分別を公共の場でもすることの
当り前の気持ちは共通。どんなところにも普及できる
仕組みスタイルを発信。

紙ごみ“もったいないやんか”プロジェクト始動

事務局は元大阪書籍株式会社内（東成区）から、社員の方の自発的な活動から出発。2006 年、回収事業組合の協力で大阪市内 24 区公立幼稚園小中高校支援学校 400 校中 80 校からスタートし 125 校へ。2008 年大阪市へ提言書を手渡す。平松市長 2010 年ごみ減量宣言。

市民、事業者、行政、専門機関の協働へ
大阪ごみ減量推進会議発足へ

大阪市内の事業所、アパートマンション調査、家庭における古紙回収率 UP に向けて、集団回収・コミュニティ回収普及のモデル地域支援、中小テナントビル調査。（大阪コミュニティ財団助成金）各自自治体のごみ減量推進委員への啓発活動等実施中。（地球環境基金助成金）。専門業界からの話題提供での研究会。

そして、2011年